

今川水系十津川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

- 市町村境界
- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 洪水浸水想定区域 計算対象区間
- 県管理区間 (上流端)

1. 説明文

(1) この図は、今川水系十津川の県管理区間について水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定区域図は、指定時点の十津川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、十津川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、十津川以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、浸水が想定される範囲外においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(4) この図は、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き(令和2年6月)」及び「福岡県氾濫推定図作成の手引き」に基づいて越水又は溢水した場合に想定される浸水区域・浸水深を表示した図面です。

2. 基本事項

(1) 作成主体	福岡県
(2) 指定年月日	令和5年 5月26日
(3) 告示番号	福岡県告示第367号
(4) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項第3号
(5) 対象河川	今川水系十津川(実施区間:計算対象区間)
(6) 指定の前提となる降雨	十津川流域の24時間の総雨量958mm
(7) 関係市町村	赤村

